

令和6年度 技術情報第3号  
作物全般 ハスモンヨトウ

令和6年10月29日  
静岡県病虫害防除所長

ハスモンヨトウが平年よりも多く発生しています。  
今後も11月ごろまで発生が予想されるため、防除の徹底をお願いします。

1 発生状況

- (1) 令和6年10月に行った巡回調査（トマト、レタス、キャベツ、イチゴ）における平均寄生株率は過去10年間で最も高かった（図1）。
- (2) 果樹や例年発生の見られない茶においても、本種の寄生が確認された。
- (3) 令和6年9月21日～10月20日までの静岡市におけるフェロモントラップによる誘殺数は、平年より高く推移している（図2）。なお、磐田市および御前崎市におけるフェロモントラップ誘殺数は、平年並～少なく推移している。
- (4) 名古屋地方気象台によると、1か月予報（10月24日発表）では、降水量は平年より多いが、気温は平年より高いため、本種の発生を助長する。

2 防除対策

- (1) 初期発生に注意し、卵塊および分散する前の若齢幼虫は捕殺する。
- (2) 薬剤の効果は中～老齢幼虫には低下するため、若齢期に防除する。
- (3) 薬剤感受性の低下を避けるため、作用機構分類コードを参照し、異なる系統をローテーション散布する。薬剤については静岡県農薬安全使用指針・農作物病虫害防除基準 (<https://www.s-boujo.jp>) を確認する。
- (4) 施設栽培では、開口部に防虫網を設置し、成虫の侵入を防ぐ。

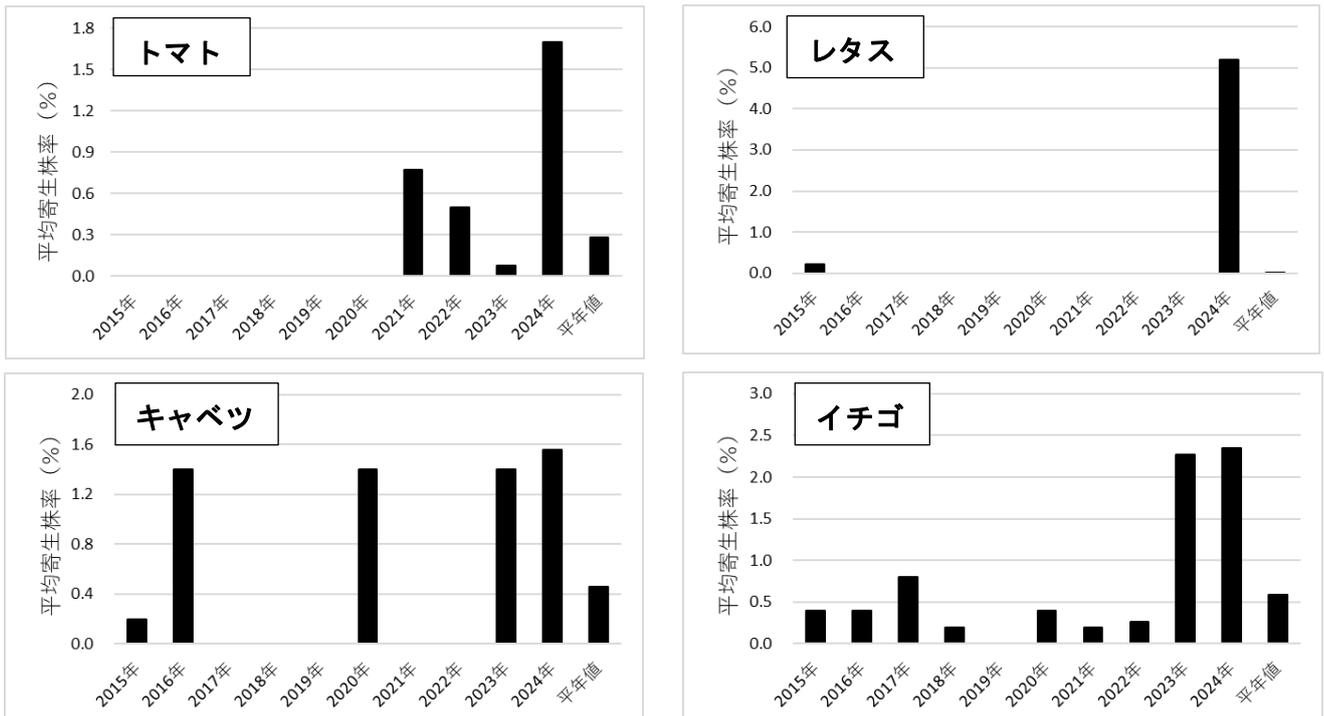


図1 10月におけるハスモンヨトウの年度別平均寄生株率（平年値は過去10年間の平均値）

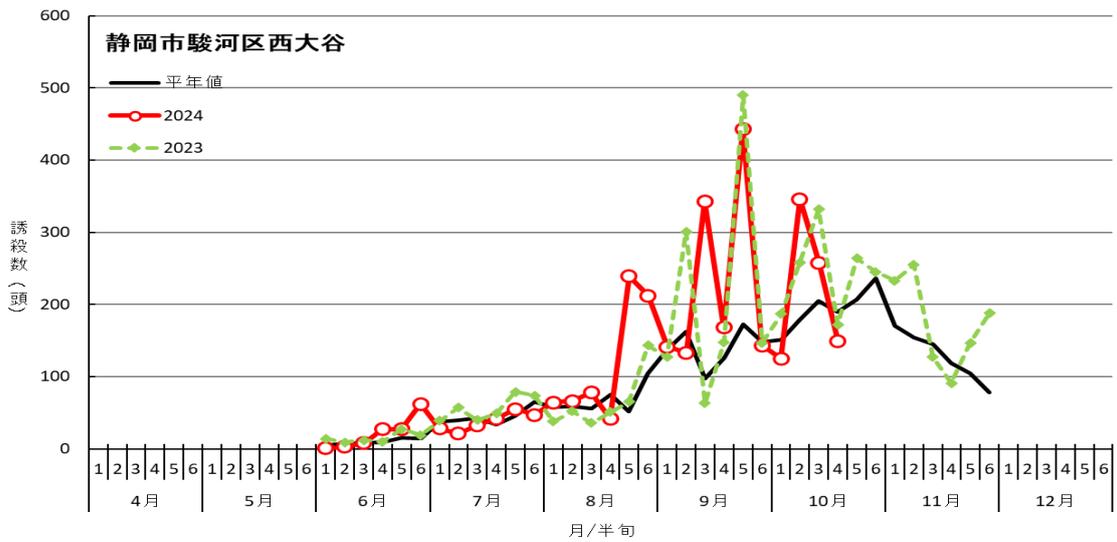


図2 静岡市におけるフェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺数



図3 ハスモンヨトウ卵塊 (レタス)



図4 ハスモンヨトウ若齢幼虫 (レタス)



図5 ハスモンヨトウ老齢幼虫 (レタス)

【問合せ先】 静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘 678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1058658/boujo/index.html>

